

製品名: IL-31R α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12551**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	82kDa

抗原情報

遺伝子名	IL31RA
別名	IL31RA; CRL3; GPL; Interleukin-31 receptor subunit alpha; IL-31 receptor subunit alpha; IL-31R subunit alpha; IL-31R-alpha; IL-31RA; Cytokine receptor-like 3; GLM-R; hGLM-R; Gp130-like monocyte receptor; Gp130-like receptor; ZcytoR17
遺伝子 ID	133396.0
SwissProt ID	Q8NI17
免疫原	ヒト IL-31R α の内部領域から得られた合成ペプチド。

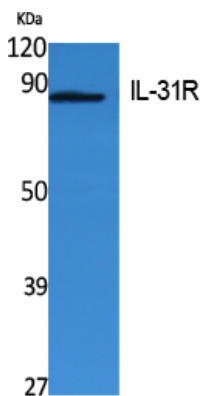
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、I型サイトカイン受容体ファミリーに属する。gp130と相同性を持つこの受容体は単球上に発現し、STAT-3 および STAT-5 の活性化を介して IL-31 シグナル伝達に関与する。単量体として、またはオンコスタチン M 受容体 (OSMR) との受容体複合体の一部として機能する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2011 年 6 月],機能: OSMR と会合してインターロイキン-31 受容体を形成し、STAT3 を活性化する。また、STAT1 と STAT5 も活性化する程度は低い。皮膚免疫において機能する可能性がある。誘導: アトピー性皮膚炎患者の病変部ケラチノサイトで発現が上昇する。 IFNG およびリポ多糖類によってアップレギュレーションされる。PTM: N-グリコシル化されている。類似性: I型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ 2 サブファミリーに属する。類似性: 5つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。サブユニット: OSMR とのヘテロ二量体。JAK1 および STAT3 と相互作用する。組織特異性: 精巣、卵巣、脳、前立腺、胎盤、胸腺、骨髄、気管、皮膚に低レベルで発現する。すべての骨髄単球系細胞株で検出される。CD14 および CD56 陽性血球およびマクロファージ (タンパク質レベル) に発現する。 ,

研究分野

-

画像データ



IL-31R ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。